

2025年3月末日
厚生労働省委託事業「イクメンプロジェクト」

令和6年度若年層における育児休業等取得に対する意識調査 発表 Z世代に大人気のクリエイターユニット「放課後アオハル学園」出演 ～ショートドラマ「もしも自分がパパになったら」～累計再生回数約43.5万回突破～

厚生労働省委託事業「男性の育児休業取得促進事業（イクメンプロジェクト）」において実施した「若年層調査冊子」の結果を公表しました。また、若年層を対象に、家事や育児への参画意識を醸成し、育児休業の取得率向上を図るため、10代に絶大な人気を誇るクリエイター「放課後アオハル学園」を起用し、YouTube配信のショートドラマシリーズを制作。第一弾から第三弾まで累計約43.5万回再生を突破いたしました。

■特設サイト：<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>



collaboration

イクメンプロジェクト × **放課後アオハル学園**

コラボレーションが実現!

若者の声を代表して学生から絶大な人気を誇る放課後アオハル学園メンバーが若年層の育休取得や育児に対する意識のリアルを紹介!



この取り組みは、厚生労働省が進める「男性の育児休業取得促進事業（イクメンプロジェクト）」の一環として、特に男性の育児休業取得に対する社会的な関心を高めることを目指しています。

2024年7月31日に発表した「若年層における育児休業等取得に対する意識調査」では、若年層の育休取得意向が9割近い結果となりました。さらに、若年層の69.7%が就職活動において企業の育休取得情報を重視し、61.0%が「男性の育休取得実績がない企業には就職したくない」と回答するなど、育児休業取得実績が、就職活動の企業選びにも大きな影響を与えていることが明らかになりました。

これらの調査結果に加え、この度公表した「若年層調査冊子」では、本プロジェクトで実施した若者へのグループインタビューや、街頭インタビューの内容も掲載しております。昨今の若者の育休取得や育児に対する意識を把握し発信することで、特に男性の育児休業取得への社会的機運を高めるとともに、企業における育児休業取得促進、若手人材の確保・定着を図っていただきたいと思います。

さらに、育休のリアルをより身近に感じてもらうため、10代に人気のクリエイターユニット「放課後アオハル学園」を起用し、ショートドラマを制作いたしました。3作品からなるドラマシリーズは、大好評のエピソード1を筆頭に、シリーズ累計43.5万回再生回数を突破。今後も、育休のリアルな実態や企業ごとの取り組み等をわかりやすく発信することにより、男性の育児休業取得が当たり前になる社会を目指してまいります。

■「若年層調査冊子」 調査概要

■ 定量調査概要

調査手法：WEB 定量調査

調査期間：2024年6月22日（土）～2024年6月25日（火）

調査対象：全国の18歳～25歳の男女 高校生・大学生などの学生若年層

サンプル数：7,840件（スクリーニング調査）、2,026件（本調査）

■ 定性調査概要

調査目的：●2024年6月に実施した定量調査によって明らかになった事実、仮説をより具体的に把握するために、定性調査によって深掘りを行い、来年度以降のプロモーションに役立てること。

●具体的には、ワーク・ライフ・バランスをはじめとする、結婚・子育て、そして働き方などの考え方が“関東（東京都）”と“関東以外（地方）”の若年層で、どのように異なるのかを把握すること。

●その上で、今度の企業のプロモーション（特に、地方の企業）における、育休情報を発信することの重要性や若年層の就職意向向上につながる発信内容のヒントを導くこと。

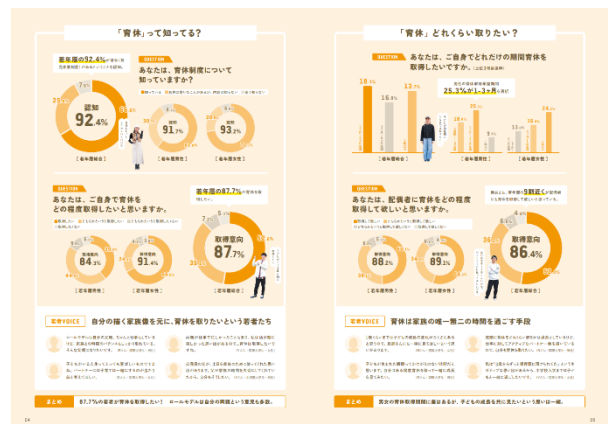
調査手法：対面・オンライン グループインタビュー調査

調査対象：①東京都在住の2-4年大学生 3名

②東京都以外地方の3-4年大学生 5名

調査実施日：2024年9月19日（木） - ①

2024年9月20日（金） - ②



■ ショートドラマ「もしも自分がパパになったら」について

「もしも自分がパパになったら」という全体テーマを軸に、#1「全力告白」#2「先生の話は聞くべきです」#3「逆圧迫面接」の3本のショートドラマを制作いたしました。それらのショートドラマを通じ、将来的に男女ともに育児へ積極的に参画することの重要性や、育児休業を取得できる企業への訴求、また社会全体への育休制度の理解促進を目指す取り組みとなります。

【ショートドラマ概要】

■ 第1弾ショートドラマ『全力告白』編

放映開始日：2024年10月31日（木）～

YouTube ショート URL：<https://youtube.com/shorts/vGvZHBMV4n8?feature=shared>



● 出演者コメント

・伊吹とよへさん

「育休ってこんなに取れるんだ！って撮影しながら勉強することができました！僕も絶対に育休取ろうと思いました！立派なイクメンになります！」

・ウンパルンパさん

「今回の撮影を通して改めて育休というのが大切だと理解しましたし、育休できる環境がここまで整っているとは知らなかったので驚きました！撮影もめちゃ楽しかったです！バモス！」

・晴れのちしずくさん

「何より、スタッフの方々と演者さん達のおかげでとても楽しい撮影でした！年齢的にまだ育休などに関して真剣に考える機会が少なかったのですが、改めてすごく大事なことだなと感じました。実際、子供や将来に関して具体的に考えている方の方が将来を真剣に考えたいと思うな～そんなプロポーズもいいな～と思いました！」

・大塚祐也さん

「放課後アオハル学園初のショートドラマ！演じた先生や上司のように、若者に理解ある人でありたいです。」

● 撮影風景



■ 放課後アオハル学園について

「もし“あのインフルエンサーたち”が同じ学校に通っていたら…」

そんなキラキラした妄想をコンテンツ化したクリエイターユニットです。

10代から圧倒的人気を獲得しているまさに「Z世代コンテンツ」で、1000万再生を超えるバズ動画を量産しています。

メディアとしての「アオハル学園の影響力」、「共演インフルエンサー様たちの影響

力」、ここでしか見られないユニット感に対する「注目度由来の影響力」のそれぞれの影響力による相乗効果を生かしてコンテンツを作り上げています。



■ 厚生労働省イクメンプロジェクトについて

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



▶イクメンプロジェクト サイト URL : <https://ikumen-project.mhlw.go.jp/>